

## 2022年3月期決算・中期経営計画説明会(オンライン) 実施概要

### 1. 実施概要

- (1) 日 時 : 2022年4月28日(木) 16:30~17:30...メディア・アナリスト・機関投資家向け
- (2) 出席者 : 代表執行役会長(CEO) 中谷 康夫、代表執行役社長(COO) 高木 宏明、  
執行役副社長 神宮司 孝、執行役専務 経営戦略本部長 佐藤 清輝、  
執行役専務(CFO) 財務戦略本部長 林 伸和
- (3) 内 容 : 決算概要、中期経営計画(LOGISTEED2024)、4/28公表の件※、質疑応答  
※HTSK(株)による当社株式に対する公開買付けの開始予定に係る賛同表明及び応募推奨に関する件

### 2. 主な質疑応答(要旨)

(1)2022年3月期決算、中期経営計画(LOGISTEED2024)について

**Q1. 2030年に“グローバル3PLリーディングカンパニーへ”と目標を掲げられていますが、記載されている売上1.5兆円などを達成すれば、“グローバル3PLリーディングカンパニー”になったと考えて良いのでしょうか。**

A1. 売上収益はKPIの1つであると考えています。2030年に向けて、「LOGISTEED2024」で「アジア圏での3PLリーディングカンパニー」としての基礎を築き、さらに成長してグローバルな地位を築きたいと考えています。

**Q2. 危険物倉庫の取り組みについて教えてください。**

A2. 関西地区で自動倉庫を併設した危険物倉庫を既に稼働させています。総資産回転率を上げるため、保有している土地を有効活用して危険物倉庫を整備・拡充させていく考えです。

**Q3. 新中計における投資計画について、M&Aを含む戦略投資の額が前中計から約2倍以上になっていますが、具体的な方針を教えてください。**

A3. 現時点で詳細をお伝えする事はできませんが、今まで以上に投資を行い成長を加速させていきたいと考えています。

(2)当社株式に対する公開買付け(TOB)について

**Q4. 具体的にどのようにKohlberg Kravis Roberts & Co. L.P.(以下KKR)と協力していくのか教えてください。**

A4. 海外および日本国内においてM&Aや資本提携等を通じて、特に海外事業の拡大を加速させることが可能と考えています。

**Q5. 事業会社を共同出資パートナーとして招聘することですが、KKRの持分から株式を配分するのでしょうか。**

A5. 協創戦略の中で当社事業の成長を加速させることができると判断した事業会社を、共同出資パートナーとして招聘することを想定しています。

**追Q. KKRは株式を中長期的に保有する考えなのでしょうか。**

追A. KKRのエグジット計画は、短期ではなく中長期的な当社の成長を見込んでIPOを含めて検討するという認識です。

**Q6. 非公開化後の社債市場との向き合い方について、今後の方針を教えてください。**

A6. 今回のディールや当社の財務状況も含めて引き続き丁寧な説明をしていきたいと考えております。

**Q7. 今回のTOBについて、(株)日立製作所(以下、日立)が保有する御社株式を売却する意向から始まったという理解で宜しかったでしょうか。**

A7. 本日発表した内容は、日立の当社株式売却の意向を受けて開始したものととなります。

**Q8. 今後、日立とはどのような距離感、分野で協業を進めていくのか教えてください。**

A8. DX、自動化・省力化の分野で密に連携しており、今後も協業を継続していきます。特にSSCVは、当社の商流に加え、日立の商流による外販も進んでおり、脱炭素関連も含めて今後も多方面で協業していけると考えています。

以 上